

変わる公民館の形

◆公民館の役割

公民館はどのような目的でつくられ、どのような役割を持っているのでしょうか。

そもそも公民館は、戦後荒れ果て、混乱した社会状況の中で、学習の場、また地域振興、地域づくりの拠点として、新しい日本を築き上げるために設置されたものです。公民館を規定した社会教育法では、公民館を単なる貸館的な施設ではなく、地域の人々の身近なところで課題解決を目指す総合的な社会教育施設と位置付けています。

◆公民館の機能

公民館は従来から3つの大切な機能を持っています。1つ目は、人々が公民館に集まってさまざまな課題について話し合うことができるよう、場所を提供する「集う」機能。2つ目は、人々が自分の好きなテーマを選んで学ぶ環境や生涯学習を推進するための環境を整える「学ぶ」機能。そ

して3つ目は「結び」機能。好きなテーマで集まったグループで仲間づくりが進み、人と人の結び付きができます。また、学びたい人と講師を結び付ける役割も果たし、心豊かな暮らしを応援します。

このように、公民館は人々が「集う、学ぶ、結び」施設なのです。市では、東・西・中・南・加佐公民館、大浦・城南会館を公民館として機能させ、生涯学習の推進、貸館事務、支払いなどの収納、証明書等の交付事務などを行っています。

◆変化する地域の環境

近年の地域社会では、少子高齢化や人と人との結び付きの希薄化が進むなか、公民館はこれまで以上に「地域づくりの拠点」としての機能が求められるようになりました。そのため、市内の公民館では生涯学習の幅広い内容を題材に「人と人との結び付きの活動」「地域のことを想う人材をつくる活動」を重視し、さまざまな事業を展開しています。

公民館が担うべき役割も変わる必要があります。市では、市の進むべき方向を示す第7次舞鶴市総合計画の中で「地域のつながりと新しい地域コミュニティの創造」「いつまでも学び活動を続けることができるまちづくり」を掲げています。そして市民一人ひとりが、いつでも、どこでも学ぶことができる環境を整えることで、学びが人を成長させ、さまざまな地域課題の解決にあたる人材の育成につながるよう、生涯学習社会の実現を目指しています。

以前からの役割

生涯学習の拠点・
集う・学ぶ・結ぶ

これにプラス

現在目指している姿

生涯学習の拠点と
地域づくり・
コミュニティ拠点

「地域づくり」は「人づくり」であることを重視し、市民一人ひとりが持つポテンシャルを地域に還元できるよう、地域人材の発掘・育成、活用にも取り組んでいます。

公民館名	電話番号
東公民館	62・1237
西公民館	75・6501
中公民館	62・0400
南公民館	62・0288
加佐公民館	83・0036
大浦会館	68・2010
城南会館	78・1800



親子向け



親子で参加できる講座もたくさん。

敬老会



お年寄りの皆さんに敬意と感謝を込めて

集会



大浦地区をより良くするために意見交換。

イベント



年に一度の各公民館での活動の集大成ふれあいサンデー

自分たちの地域は自分たちで守ります。子ども達からも提案。

フリマ



わくわくマーケットさるなあとでは子ども服を売買

南公民館でウズベキスタン訪問団と交流

国際交流



料理教室



料理教室で地域の人と身近に。男性向けもあり

防災研修会

